一学年だより

Ｎｏ，１２
令和５年１１月　１日
太宰府市立太宰府西中学校
文責：江崎　彰泰

中間考査に向けて

～誰かのために… 努力の連鎖で、一人一人の力を伸ばそう～

来週の金曜日に中間考査が行われます。中間考査を意識して本気で勉強に取り組んでいる人が増えてきました。その人たちは、授業に集中していて、目には力があります。また、ちょっとした時間を見つけてワークを進めています。生活ノートの自学では「自分の苦手な内容」やテスト範囲の「覚えなければならないこと」を書いています。

さて、今回は「誰のために勉強するのか？」ということを考えてみてください。「自分のために勉強するんだ。」これは、多くの人が思っていることで、先生や親からも言われ続けてきたのではないでしょうか。しかし、こんな考え方はどうですか。

「他人のため、誰かのために勉強する」

想像してください。中間考査の勉強を今まで以上に頑張った自分の姿を…、今までよりもよい点数を取れた自分の姿を…。まずは、自分が満足できます。「やった」という達成感を味わうことができます。自信が生まれさらに頑張ろうというやる気につながります。次に家族です。我が子が頑張ればうれしいのが家族です。間違いなく喜んでくれるでしょう。そして友達も喜び、「自分も頑張らなくちゃ」という気持ちになり、努力の連鎖が起こります。担任の先生や教科の先生も喜び、「さらに力をつけさせるために自分も努力しよう、さらにわかりやすい授業を目指そう」とやる気が湧いてきます。

そうです。自分が勉強を頑張ることで自分自身だけでなく、親や友達や先生達など多くの人が喜び、幸せな気持ちになれるのです。自分が勉強を頑張ることは、間違いなく人の役に立つ尊いことなのです。

そして、ライバルは過去の自分、昨日の自分です。間違っても友達やクラスの人と比べてはいけません。世の中には、自分よりすごい人がたくさんいるので、他人と比較すると自分が苦しくなります。「前回のときよりも勉強時間を増やす」「ワークを２回する」「目標点数を5点上げる」「数学で自己最高点数を取る」…。あくまでも過去の自分よりも努力するのです。**「誰かのために勉強する。」**中間考査の勉強で取り組んでみませんか。

○５教科それぞれの**目標点数**を決めよう。
○目標点数をとるために、**必要な努力**をしよう。
○ワークなどの**答合わせ、やり直しをていねいに**しよう。
○間違えた問題は、**できるようになるまで**考えよう。
○わからない問題は、**まず自分で教科書やノートを調べよう。**
○調べても分からないときは、**「先生」や「友だち」に質問**しよう。
○暗記するときは、**「目」(見る)と「手」(書く)と「口」(声に出す)**を同時に使おう。
○**「努力」＝「時間」×「集中力」**

もうこれまでと思うのも自分、まだまだやれると思うのも自分

自分で「もうダメだ」ということを選べるならば、その同じ**自分が自らの意志で「まだまだやれる」という道をも選べる**ということです。

たいていは、**自分が限界と思ったちょっと先で、成功が待っている**ものですよ。

「合唱」でのまとまりを「日常生活」でのまとまりへ

中学生になって初めての文化発表会・合唱コンクールが終わりました。まずは、実行委員など中心となって学年のためクラスのために役割を果たしたみなさん、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

箏曲部、吹奏楽部、コンピュータ部、英語スピーチ、探究タイムなどのステージ発表も素晴らしかったですね。

伴奏者の５名のみなさんは、夏休みから約３ヶ月間、毎日伴奏の練習を続けてきたと思います。本当にありがとうございました。合唱コンクールのために、自分の時間を一番使って努力したのはあなた達です。

合唱コンクール本番は、どのクラスも最後のリハーサルより、まとまりやハーモニーなどが向上していました。３組はコンクールのトップバッターだったので、他のどのクラスよりも大きな緊張感の中での合唱だったと思います。

練習を始めた頃はまとまりがなく、みんなバラバラでした。やる気がなく、ふざけて練習していた人もいたのではないでしょうか。約１ヶ月の間に、音楽の授業や「総合」の時間、そして２回のリハーサルを通して、少しずつクラスの合唱を創り上げてきました。

個人で歌詞と自分のパートの音程を覚えることから始まり、まずはパートでの練習。少しずつ声が大きくなり、音程がそろい、パートの一体感が創られていきました。

そして、クラス全体での合唱練習に移り、声量バランスの調整、強弱やのばし方などを確認しながら、何度も何度も歌いました。パートリーダー達が少しずつ本気になり、それに引っ張られて一生懸命に練習する人が１人、２人と増えはじめ…。

そして「金賞を取りたい」「より素敵な合唱にしたい」という雰囲気がクラスの中に生まれ、まとまりが創られてきたのです。

歌うことが好きな人や得意な人がいれば、歌が苦手で歌うことが嫌いな人もいる。バラバラでまとまりのないところから、いろいろありながらも時間をかけて練習を繰り返し１つの曲をクラスみんなで創り上げる…。これが、合唱コンクールの魅力であり素敵なところだと思います。だからこそ、毎年たくさんの保護者の方が楽しみに見に来られ、みなさんも感動したり、悔しい気持ちになったりするのです。

「みんなで力を合わせがんばると、すごい大きな力が生まれて、
何かを達成できるということを学んだ」

これはある人の感想です。いかがですか。

「一人ではできないことをみんなで力を合わせてがんばることの楽しさ」をこれからもたくさん味わえる仲間、学年を創っていきましょう。まずは、「授業」「掃除」「委員会・係の仕事」「部活動」などの日常の学校生活のなかから意識していきましょう。

保護者のみなさまへ

文化発表会では、お忙しい中、たくさんの皆様が足を運んでくださりありがとうございました。子ども達の歌声や姿はいかがでしたか。多くの観客に見守られる中、合唱を披露させていただけたことをありがたく思います。

11/4(土)はPTA主催の「樟蔭オリンピック」が開催されるため、出校日となります。ランチ、パン注文がありませんので、昼食の準備をお願いします。

また、11/10(金)は中間考査です。お子さまへの叱咤激励をよろしくお願いいたします。